

「小平市一般廃棄物処理基本計画の策定について」（基本的事項）（答申）（案）

1 はじめに

- ・小平市は、平成31年4月1日より家庭ごみ有料化・戸別収集へ移行した。
- ・有料化により令和元年度のごみ量は減少したが、その後の新型コロナウイルス感染拡大による影響でごみ量は再び増加した。
- ・令和4年度に策定する次期一般廃棄物処理基本計画においては、有料化・戸別収集の効果を見極め、計画案を策定していく必要がある。

2 小平市廃棄物減量等推進審議会において検討した基本的事項

(1) 小平市一般廃棄物処理基本計画について

- ・小平市一般廃棄物処理基本計画の位置づけについて
- ・市民への十分な周知の必要性

(2) 食品ロス削減推進計画について

- ・次期一般廃棄物処理基本計画には、近年注目される食品ロス削減推進計画を盛り込む。
- ・計画策定にあたり、できる限り地域性にも考慮しながら、効果的な計画を作成する。

(3) 事業系ごみ処理手数料の見直しについて

- ・事業系ごみ処理手数料の見直しについては、前第13期審議会においても、処分費の見直しの必要性について、答申をいただいている。
- ・ごみ処理手数料の見直しは、その減量効果も期待できることから、速やかに見直しを行うべき。

(4) 市民アンケート（案）について

- ・市民アンケートは、次期一般廃棄物処理基本計画策定にあたり、市民の意見を聞く重要な機会である。
- ・家庭ごみ有料化・戸別収集への移行後、初めての計画になることから、前後の市民意識の変化を捉える必要がある。
- ・アンケート実施に当たり、食品ロス削減推進計画の策定を見据えた設問を盛り込むすること。